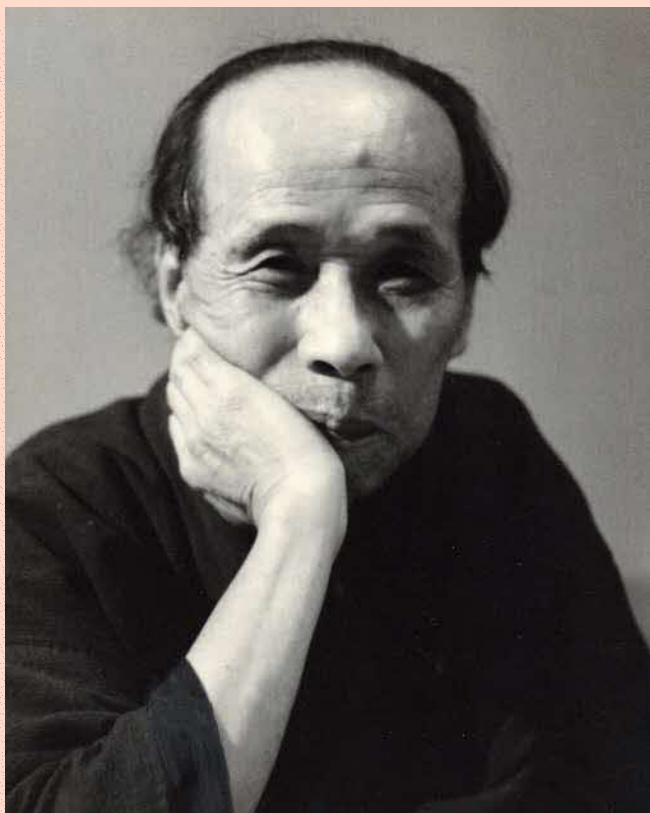


小説

やり
た
けん
いち
鏝田研一



岩国市
(1892～1969)

本名、徳座研一。岩国市今津に農家の五男として生まれる。学生時代から文学に関心を持ち、宇野千代らと同人誌に作品を発表。大阪、神戸の神学校に学び、牧師として京都、福井に赴任。上京後は、『農民』に拠り無政府主義、重農主義論を展開した。賀川豊彦の紹介により、翻訳の仕事が始めたが、その後伝記小説のジャンルを開拓、『賀川豊彦』『徳富蘆花』などを著した。その他キリスト教関連の論文、小説『満州建国記』、農民文学、実用書など、多数の著作がある。

(中澤辰江)

【主な著作】

『山室軍平』(実業之日本社、昭和11年)

『徳富蘆花』(第一書房、昭和12年)

『満州建国記』(新潮社、昭和17年)